

## 第1回北上市政策評価委員会（全体会）会議録

日 時	平成25年7月26日（金）午後1時～2時20分
場 所	北上市役所本庁舎5階会議室
出席者	【委員】山田晴義委員長、佐藤徹副委員長、岩淵公二委員、小野寺純治委員、栗田但馬委員、高樋さち子委員、谷藤邦基委員、西出順郎委員、和田明子委員__（宗和暢之委員は欠席） 【事務局】
傍聴者	2名

今年度は第2期目となることから、各委員に対して委嘱状を交付し、委員の中から委員長及び副委員長を互選した。また各委員の所属部会及び部会長を委員長より指名した。

今年度の日程の確認、平成23年度外部評価結果に対する市の対応及び平成24年度外部評価結果に対する市の方針について説明を行った。

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

[略]

### 3 市長あいさつ

この政策評価を第三者である専門家の皆様に平成23年から始めさせていただきました。市民、議会、行政が同じ情報を三者で共有しなければ政策判断ができないということから、その情報のとらえ方について示していただきたいという目的で始めさせていただきましたものであります。1期の2年間が終わり、おかげさまで市民、議会、行政の間で情報の共有ができてきたと思いますし、そのことで重要な課題についても解決の方向に導かれてきているのかなと思っておりまして大変感謝しております。政策評価につきましても恐らくまだまだ確立されたというものはないだろうと思いますが、そんな中でもわれわれも研究しながら内部評価をし、先生方にそのことについて評価をしていただきながら、できるだけ政策の精度を上げていきたいと思っておりますので、今回2期目ということになりますますがよろしく願いいたします。

今年度の特徴としまして、新たに全国各地で行われてきました住宅リフォーム助成制度について、目的としては地域経済の活性化を狙って平成23、24年度に事業を実施させていただきました。その評価をしようということで、様々なアンケートやデータをとって評価をしようとしているところであります。先生方には、その評価の仕方あるいはデータの集め方がいいのか、また地域経済の活性化について非常に難しいところでありますが、何等かのアドバイスをいただければ、今後の展開にも

この住宅リフォーム制度を活用できるかの判断にもつながると思いますのでよろしくをお願いします。

その他につきましては出資法人等の評価、総合計画で進めている施策の評価の大きく2つに分かれておりますので、引き続きよろしくをお願いします。

#### 4 報告

##### (1) 平成23年度外部評価結果に対する市の対応について

###### 【事務局説明】

[略]

###### 【質疑応答】

(委員) 2つの施策について、評価結果で成果指標の見直しや指標の設定について書かれているが、具体的にすでに見直しや設定はされているのか。またアンケート調査との関係はどうなっているのか。

→平成24年度の施策評価において見直しをかけている。またその結果については未来創造会議や基本構想等審議会に諮って了承していただいている。アンケート調査はまだとりまとめが終わっていないので、まとめ次第反映させていく。

(委員) 見直しをして修正されたということ、アンケート結果は指標の現状値を収集するというのでいいか。

→毎年指標を見直ししているが、具体的にどう見直したかは今手元に資料がなく、アンケート結果もまだ把握していないので、次回までに確認する。

(委員) 北上開発ビル管理について、具体的対応方法手法等で関係機関と法人のまちづくりにおける役割の検討組織を立ち上げとあり、総括ではまだ検討中とあるが、見通しはいつごろか。

→担当課に検討組織立ち上げを急がせている。法人側にも組織立ち上げを含め駅前周辺の問題意識はあることから、年度内の立ち上げを目指していきたい。

(委員) 高齢者施策のアンケートについて、2,016人対象とあるが、全体の何パーセントか。

→対象が21,984人で、うち2,016人を無作為抽出した。

(委員) 一般的に高齢者は65歳以上といわれているが、今回なぜ60歳以上としたのか。

→今後高齢者福祉サービスを受ける方々のニーズを把握するため60歳以上とした。多くのサービスを受けている79歳を超えた方々を対象外として、その1割として設定したもの。

##### (2) 平成24年度外部評価結果に対する市の方針について

###### 【事務局説明】

[略]

###### 【質疑応答】

(委員) 施策と重要課題で様式が違う。タイトルのうち重要課題には総括意見がなく、施策では今後の市の方針がないが、これは意図的なものなのか。また施策の評価結果の丸数字に対し具体的な対応方法手法等が対応していないのもあり統一されていないようだがなぜか。重要課題で内部評価の代替案2に対するコストが記載されていないのはなぜか。また実施困難という議論ではなかったと思うが確認をしたい。

→様式は施策の評価での総括意見をそのまま記載し、重要課題では総括意見を外部評価結果として記載した。施策の市の方針については、具体的な対応方法手法等の記載が方針にあたるということでご理解いただきたい。代替案2について、昨年度の比較検討資料のデメリットの部分で、現在の状態で河積阻害率が5%を超えており、さらに工事を行うことにより阻害率の既定値である6%を超えることから、実施困難としたもの。

(委員) 事業費はいくらか。

→積算工事費で20億円。

(委員) 住民説明会を25年7月に開催するとしているが、今日はもう26日で、工事前には必ず商業の方や住宅地に住んでいる方多くの市民対象に開催すべきもので、その説明会の日程はいつか。そうすると工事の着工はいつになるのか。現地の住民への一步通行の説明ではなく、説明会での質問への回答をするための説明会も必要になる。

→中心市街地の方々への説明会は8月8日を予定している。橋周辺の地域住民への説明会はこれまで3回開催しており、8月中に第4回を予定している。工事の着工は9月を予定している。

(委員) 施策のフォーマットについて、ごみの発生抑制が他の2つの施策と具体的な対応方法手法等の記載が異なり、評価結果に対する答えになっておらず、違和感があるかどうか。

→再度担当課においてフォーマットをそろえるように見直しを行う。

## 5 協議

### (1) 委員長、副委員長選任

事務局から委員長及び副委員長案を提案し、委員より承認を得た。

委員長：山田晴義委員      副委員長：佐藤徹委員

### (2) 専門部会員、部会長指名

委員長より部会員及び部会長を指名した。

部会員：別紙のとおり

行政評価検証専門部会長：佐藤徹委員

出資法人等協働評価専門部会長：山田晴義委員

### (3) 今年度の日程等

## 【事務局説明】

[略]

## 【質疑応答】

(委員) 平成23、24年度の結果報告について、時間が足りなくもう少し伺いたい事項がある。昨年度の評価済みの課題に対する経過観察も含め、委員会の中で議論する時間があるのか確認したい。

→まだ内部で検討したわけではないが、時間が作れるのであればそのような場を設けたい。また事務局だけではなく担当部も出席することとしたい。

(委員) 課題等について、可能ならばそのような場を全体で確認できるように設定していただきたい。

## (4) その他

なし

## 6 閉会